

日本気象学会昭和37年度春季九州支部講演会

支部講演会はさる5月24、25日の両日、別府市大分県物産観光館で開かれ、下記42編の研究発表があった。出席者約60名。

記

- | | | | |
|---------------------------------|------------|--|-----------|
| 1. 対馬近海の高潮について | 殿原 生駒 進 | 22. 500mb高度偏差を利用する暖候期の気温、降水量の予想(第1報) | 鹿児島 江田 季敏 |
| 2. 桜島火山の爆発について | 鹿児島 東谷 幸男 | 23. エコーの型と気象条件 | 福岡 山田 三朗 |
| 3. 桜島火山における溶岩の上昇について | 〃 利光 貞夫 | 24. 九州南海上を通過する低気圧に伴うエコーの基本型 | 鹿児島 稲垣 豊秋 |
| 4. 日向灘の地震に及ぼす気象値の影響 | 宮崎 安井 豊 | 25. 平戸付近の高潮と気象 | 平戸 伊藤 完三 |
| 5. 高潮予報について | 長崎 土田 武雄 | 26. 山口県の高潮調査について | 下関 久永八州夫 |
| 6. 宮崎における月令と気象値の関係 | 宮崎 日高 武恒 | 27. 鹿児島県における大雨注意報、警報の基準(第2報)および風に関する警報の基準(第2報)について | 鹿児島 宮元 実 |
| 7. 九州近海における水温と気温との関係 | 長崎 加藤 威夫 | 28. 警報、注意報の基準作成についての検討 | 熊本 古閑 賢一 |
| 8. 長崎の雨について | 〃 大磯 紘 | 29. 1961年10月26日の低気圧による大分県東部の豪雨について(その1) | 大分 笠村 幸男 |
| 9. 山陰、九州における山岳事故と気象について | 福岡航空 渡辺 忠夫 | 30. 〃 (その2) | 〃 狩生 義明 |
| 10. 洪水予報のための宮崎県の雨量調査 | 宮崎 椎葉 盛澄 | 31. 異常乾燥注意報の基準の検討 | 福岡 川端 俊 |
| 11. 名瀬における強雨の統計的調査 | 名瀬 大山 栄光 | 32. 500mb高度偏差分布型による雨量の1カ月予想 | 〃 有馬 三郎 |
| 12. 熊本県の豪雨調査について | 熊本 岡部 成徳 | 33. 揚子江河口付近の低気圧について | 福岡 藤戸 誠 |
| 13. 豪雨調査資料による解析の1例 | 〃 木下 正時 | 34. 台風の転向点付近における降雨細胞の運動について | 名瀬 今門 宗夫 |
| 14. G-4 上の雲の分布と時間変化 | 福岡航空 高尾 好 | 35. 台風の中心としてインバンドのパターン(2) | 福岡 大枝 良介 |
| 15. 人吉の気象特性(第1報) | 人吉 田中 虎治 | 36. 自記紙の補正值について | 人吉 石川 典夫 |
| 16. 浜町の気象について | 熊本 保田井 勳 | 37. 山口県の大雪について | 下関 赤井 清康 |
| 17. 種子島の冬期の強風について | 種子島 品川 昌平 | 38. 強風、波浪境について | 種子島 田畑 七郎 |
| 18. 台風に伴う風速について | 佐賀 東島 茂 | 39. 甘木、吉井地方に降ったひょうについて | 福岡 岡村 存 |
| 19. 昭和36年の台風第10号、11号、12号の経路について | 鹿児島 長浜 宗政 | 40. 大分県の桜の開花について | 大分 小島 隆義 |
| 20. 台風の温帯化について | 福岡 岡村 存 | 41. 名瀬の異常潮汐について | 名瀬 福田 一也 |
| 21. 年のくせからみた梅雨量の予想 | 〃 植木九州男 | 42. 福岡の天気を持続性について | 福岡 加藤 忠 |
| | 〃 八尋 俊男 | 特別講演 | |
| | 植木九州男 | 台風のモデル実験について | 気研 高橋 喜彦 |

日本気象学会九州支部新役員きまる

九州支部の第5期の新役員は選挙により次のとおり決定した。幹事は支部長指名。

支部長 倉石 六郎
 常任理事 坂田 勝茂
 〃 土井 謙二

理事 山田 国親
 〃 沢田 竜吉
 〃 赤井 清康
 〃 竹永 一雄
 幹事 今山 正春
 〃 小島 隆義